

## (参考資料4)常滑市新市民参画推進計画(23項目)

NO.	担当部署	全体の取組項目			全体の取組内容	平成22年度の取組計画	平成22年度の成果等
1	市民協働課	市民参画の仕組みづくり	市民参画の拡充	地域活動の推進と加入促進	町内会の活動や重要性についてチラシや広報紙で啓発	窓口での案内を実施する。また、転入者が多くなる時期にはHPをUPDATEするなど、目立つようにする。	転入者に対し窓口で加入案内のチラシを配布・説明を行った。また、HPに詳しい内容を掲載し町内会の重要性を啓発した。
2	こども課	市民参画の仕組みづくり	市民参画の拡充	世代間交流の推進	幼保育園における世代間交流を推進 ①世代間交流 老人施設入所者、在宅老人、老人クラブ会員との交流 ②異年齢交流 中高生、未就園児との交流	実施園を変更して実施する。	①世代間交流は三和南・三和西・青海・大野保育園で実施した。 ②異年齢交流は常滑北・瀬木・常石・丸山保育園で実施した。
3	秘書広報課	市民参画の仕組みづくり	情報の共有	行政情報の積極的な提供	地上デジタル放送を活用した行政情報の提供を検討	同左	CCNCの番組において、「市役所からのお知らせ」として160件の行政情報を放送。 また、平成22年10月から、行政情報のデータ放送を開始し、各課から提供する情報を市民がいつでも見ることが可能になった。
4	秘書広報課	市民参画の仕組みづくり	情報の共有	行政情報の積極的な提供	広報紙等のわかりやすい情報提供を推進	見やすいレイアウト、わかりやすい表現に努める。	文書校正に力を入れ、わかりやすい表現に努めた。また、表やイラストなどを効果的に配置することに努めた。
5	秘書広報課	市民参画の仕組みづくり	情報の共有	市民からの提供情報の共有	広報紙やインターネットホームページに市民からの情報を掲載	市民からの情報を掲載する「みんなのコーナー」について、今後も積極的に利用してもらうよう働きかける。また、ホームページでは、「即時更新」「情報量などの多さ」などの利点を活かした情報提供を行う。	広報とこなめ「みんなのコーナー」は毎月1ページを使い、市民からの情報を掲載。 ホームページのイベントカレンダーには、市の後援等があるものについては掲載した。
6	秘書広報課	市民参画の仕組みづくり	情報の共有	市民からの提供情報の共有	市の公共施設で市民が作成したチラシの配布やポスターを掲示	多くの人が利用する公民館や図書館などで、市民が掲載を望む情報(ポスター、チラシ)を発信する。	市民サービスコーナーや庁舎掲示板などに配置した。市の後援がない営利目的のものについては、差し控えた。
7	生活環境課	NPO・ボランティアとの協働	協働の体制づくり	アダプトプログラムによる環境美化活動の拡充	広報紙やインターネットホームページに活動内容等を紹介して啓発するとともに里親を募集する。	啓発・登録を継続して実施する。	市ホームページで啓発した結果、平成22年度実績で81団体、4,984人が登録された。

(参考資料4)常滑市新市民参画推進計画(23項目)

NO.	担当部署	全体の取組項目			全体の取組内容	平成22年度の取組計画	平成22年度の成果等
8	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	協働の体制づくり	職員の意識改革と連携の強化	NPOやボランティアに関する職員研修会を実施	NPO・企業・行政の協働という観点から、常滑で協働を実践している企業人を招き、講義等を行う。施設見学も検討。	21年度までのNPO・ボランティアに関する研修から、市民協働の意識を高める研修に趣向を変えた。今回は、9月に実施したアイアンマン70.3セントレア常滑ジャンの協働相手である中部国際空港の職員を招き、「協働事業の成果と今後の可能性」について職員研修を行った。(3月9日)参加人数 33名
9	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	協働の体制づくり	職員の意識改革と連携の強化	NPO・ボランティア講座等への職員の派遣	受講の機会を捉え、積極的に参加する。	県社会活動推進課主催の新任担当者研修会、NPO研究会(2回)、行政職員研修、実務者会議報告会へ参加した。 ・5月14日、あいちNPO交流プラザ(新任)、6月24日、あいちNPO交流プラザ(研究会)、9月6日、愛知県自治研修所(職員研修)、2月4日、刈谷市役所・刈谷市民ボランティア活動支援センター(研究会)、2月17日、あいちNPO交流プラザ(実務者)
10	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	協働の体制づくり	職員の意識改革と連携の強化	ボランティア活動への職員の自主的な参加を促進	ボランティア活動について、自主的参加をPRしていく。	市ホームページにボランティア団体の紹介ページを掲載したが、参加情報の提供までには至らなかった。
11	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	協働の体制づくり	職員の意識改革と連携の強化	NPOやボランティアとの協働に関する担当者間の連絡調整会議等を実施	市民講座や研修会の機会を捉え、NPOと関連部署担当者が意見を交換できる場を設ける。	隔月で行われるNPO意見交換会、市ボランティア連絡協議会総会(1月18日)において、情報交換や意見聴取を行った。
12	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	協働の体制づくり	補助金の有効活用	まちづくり事業費補助金の情報を提供	広報とこなめ及び市ホームページにより情報提供する。	広報とこなめ2月号及び市ホームページにより情報を提供し、市民及び各団体等へ周知した。結果11件の申請があり、うち2件が新規事業であった。
13	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	活動の拠点づくり	市社会福祉協議会と連携を図り、NPOやボランティアの交流を推進	市社会福祉協議会と連携して、NPOやボランティアが交流できる機会を設定する。	知多地域NPOと行政の意見交換会、ボランティア連絡協議会に参加し、交流の機会づくりを学んだが、会の設定までには至らなかった。
14	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	啓発活動と人材育成	市民を対象としたNPO・ボランティア講座、リーダー養成講座を開催	協働を実践している人たちをパネリストとして呼びかけ、シンポジウムを開催する。	NPO・ボランティアに関する講座から、協働に関する講座へと趣向を変え、「市民協働シンポジウム」を開催。(10月3日) ・基調講演「今、なぜ市民協働なのか」(講師)山本勝子氏、パネルディスカッション(パネリスト)山本勝子氏、辻孝二郎氏、竹田加津子氏、山田朝夫氏 参加人数 35名

## (参考資料4)常滑市新市民参画推進計画(23項目)

NO.	担当部署	全体の取組項目		全体の取組内容		平成22年度の取組計画	平成22年度の成果等
15	生涯学習課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	啓発活動と人材育成	ボランティアコーディネーター養成講座へ市民や職員を派遣	県主催の養成講座の参加者確保に努める。	県主催のボランティアコーディネーター養成講座に参加した。 ・開催日:7/23.28.8/9の3日間 ・参加者:1名(放課後子ども教室コーディネーター)
16	生涯学習課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	啓発活動と人材育成	青少年のボランティア体験活動を推進	・年5回、関係各課等から情報収集を行い、ボランティア機会を提供する。 ・夏休み期間中に、社会福祉協議会などでボランティア活動の機会を提供する。 「夏休みボランティア体験スクール」	・年5回、関係各課等から情報収集を行い、ボランティア機会を提供した。(参加者114名) ・夏休み期間中にボランティア活動の機会を提供する「夏休みボランティア体験スクール」を実施した。(参加者436名)
17	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	相談・紹介窓口と情報ネットワークの充実	市社会福祉協議会の「ボランティア・市民活動支援センター」による相談・紹介窓口の利用促進及び情報ネットワークの拡充を支援	広報紙やホームページを使い相談・窓口の利用促進及び情報ネットワークの拡充を支援。	市ホームページから社会福祉協議会へのリンクを行い、相談・紹介窓口の利用促進及び情報ネットワークの拡充を支援した。 ・相談件数 3件 ・市民活動支援サイトアクセス数2,560件
18	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	相談・紹介窓口と情報ネットワークの充実	ボランティア等が一堂に会するイベントの開催を支援	市社会福祉協議会と連携して、広報紙やホームページを活用してPRなどで支援する。	・こころの交流会(10月3日)の開催。 ・市民協働シンポジウムへの参加の案内。
19	こども課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	問題を共有する市民が支援し合う仕組みづくり	子育て支援センター事業を推進 子育て支援に携わっている団体、子育てに関して優れた識見を有した個人、及び関係部署の職員で組織する「とこなめ子育て支援協議会」で子育て支援事業を実施する。	今後も引き続き諸事業を実施する。	市民が主体となる子育て協議会の運営により、子育て支援事業を展開し、定着化を図った。
20	福祉課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	問題を共有する市民が支援し合う仕組みづくり	モデルケースによる仕組みづくりを支援	協議会の運営について充実を図る。	自立支援協議会を2回、作業部会8回開催し、NPO法人代表等に協力いただき、協議会の運営の充実に努めた。
21	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	ボランティア登録の推進	市社会福祉協議会が推進するボランティアやボランティア講師の登録及び援護を必要とする人の登録を支援	広報紙やホームページなどを活用し登録の促進に努める。	市ホームページから市社会福祉協議会のボランティア活動のホームページにリンクを行い啓発。 ボランティア連絡協議会に、新たに1団体の登録があった。

(参考資料4)常滑市新市民参画推進計画(23項目)

NO.	担当部署	全体の取組項目			全体の取組内容	平成22年度の取組計画	平成22年度の成果等
22	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	ボランティア活動保険の加入促進	市社会福祉協議会によるボランティア活動保険の啓発及び加入促進を支援	広報紙やホームページなどを活用し啓発及び加入促進に努める。	市ホームページから市社会福祉協議会のボランティア保険のページに移行するリンクを設け、理解が進むよう努めた。 ・ボランティア活動保険加入人数1,215人(H23.3.31現在)
23	市民協働課	NPO・ボランティアとの協働	市民活動支援	NPOへの寄付をしやすくする仕組みの検討	基金の設置を検討	研究会等各種会議において、先進地の基金設置に向けた取り組みについての情報収集を行い検討する。	市社会福祉協議会に設置されている基金の運用や寄付金受付の窓口PR(市ホームページに掲載)などについて市福祉協議会と検討した。